

## 廃棄法暗記プリント

○希釈法：多量の水で希釈して処理する。	過酸化水素水
○希釈法：多量の水で希釈して処理する。	過酸化尿素
●中和法：水を加えて希薄な水溶液とし、酸(希塩酸、希硫酸など)で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。	水酸化ナトリウム
●中和法：水を加えて希薄な水溶液とし、酸(希塩酸、希硫酸など)で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。	水酸化カリウム
●中和法：水で希薄な水溶液とし、酸(希塩酸、希硫酸など)で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。	アンモニア水
●中和法：水に加えて希薄な水溶液とし、酸(希塩酸、希硫酸等)で中和した後、多量の水で希釈して処理する。	過酸化ナトリウム
○中和法：徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加え中和させた後、多量の水で希釈して処理する。	塩酸
○中和法：徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加えて中和させた後、多量の水で希釈して処理する。	硫酸
○中和法：徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加えて中和させた後、多量の水で希釈して処理する。	発煙硫酸
○中和法：徐々にソーダ灰または消石灰の攪拌溶液に加えて中和させた後、多量の水で希釈して処理する。消石灰の場合は上澄液のみを流す。	硝酸
○中和法：水酸化ナトリウムまたは消石灰の水溶液で中和した後、多量の水で希釈して処理する。	ブロム水素酸
○中和法：水酸化ナトリウム水溶液で中和した後、多量の水で希釈して処理する。	沃化水素酸
●①燃焼法：珪藻土等に吸収させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。 ②燃焼法：焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	トルエン
●①燃焼法：珪藻土等に吸収させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。 ②燃焼法：焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	キシレン
●①燃焼法：珪藻土等に吸収させて、開放型の焼却炉で焼却する。 ②燃焼法：焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	メタノール
●①燃焼法：珪藻土等に吸収させて開放型の焼却炉で焼却する。 ②燃焼法：焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	酢酸エチル
●①燃焼法：珪藻土等に吸収させて開放型の焼却炉で焼却する。 ②燃焼法：焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	メチルエチルケトン
●燃焼法：アフターバーナー及びスクラバー(洗浄液にアルカリ液)を具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	クロルメチル(塩化メチル)
●燃焼法：スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	クロルエチル(塩化エチル)

●①燃焼法：スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	二硫化炭素
②燃焼法：建物や可燃性構築物から離れた安全な場所で、冷えて乾いた砂または土の中で少量ずつ場所を変えて燃焼する。	
③酸化法：次亜塩素酸ナトリウム水溶液と水酸化ナトリウム水溶液の混合攪拌溶液中に滴下し、酸化分解させた後、多量の水で希釈して処理する。	
●燃焼法：廃ガス水洗設備及び必要があればアフターバーナーを具備した焼却設備で焼却する。	黄燐
●①燃焼法：スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。	燐化水素(ホスフィン)
②酸化法：多量の次亜塩素酸ナトリウムと水酸化ナトリウムの混合水溶液に吹き込んで吸収させ、酸化分解した後、多量の水で希釈して処理する。	
●①燃焼法：スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴射し、焼却する。	ジボラン
②酸化法：多量の次亜塩素酸ナトリウムと水酸化ナトリウムの混合水溶液中に徐々に吹き込んでガスを吸収させ、酸化分解した後、多量の水で希釈して処理する。	
○燃焼法：おが屑と混ぜて焼却するか、または可燃性溶剤(アセトン、ベンゼン等)に溶かし、焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	ニトロベンゼン
○①燃焼法：木粉(おが屑)等に吸収させて焼却炉で焼却する。	フェノール
②燃焼法：可燃性溶剤と共に焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	
○①燃焼法：焼却炉でそのまま焼却する。	ベタナフトール
②燃焼法：可燃性溶剤と共に焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	
○①燃焼法：木粉(おが屑)等に吸収させて焼却炉で焼却する。	クレゾール
②燃焼法：可燃性溶剤と共に焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	
○燃焼法：可燃性溶剤と共に焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	トルイジン
○①燃焼法：可燃性溶剤と共に、焼却炉の火室に噴霧し、焼却する。	アニリン
②活性汚泥法	
○①燃焼法：木粉(おが屑)等に吸収させて、焼却炉で焼却する。	アクリル酸
②燃焼法：可燃性溶剤と共に焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。	
○①燃焼法：木粉(おが屑)等に吸収させて、焼却炉で焼却する。	メタクリル酸
②燃焼法：可燃性溶剤と共に焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。	
○燃焼法：可燃性溶剤と共にアフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	モノクロル酢酸
○燃焼法：可燃性溶剤と共にアフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	ジクロル酢酸
○燃焼法：可燃性溶剤と共にアフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	トリクロル酢酸
○燃焼法：可燃性溶剤と共にスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	ブロムメチル(臭化メチル)
○燃焼法：可燃性溶剤と共にスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。	ブロムエチル(臭化エチル)
○燃焼法：過剰の可燃性溶剤または重油等の燃料と共にアフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧してできるだけ高温で焼却する。	クロロホルム

○ <b>①</b> 燃烧法：過剰の可燃性溶剤または重油等の燃料と共にアフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧してできるだけ高温で焼却する。	四塩化炭素
○ <b>①</b> 燃烧法：炭酸水素ナトリウムと混合したものを少量ずつ紙などで包み、他の木材、紙等と一緒に危害を生ずるおそれがない場所で、開放状態で焼却する。	ピクリン酸
② 燃烧法：大過剰の可燃性溶剤と共に、アフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。	
○ <b>①</b> 燃烧法：木粉(おが屑)、布切れ等の可燃物に吸収させ、アフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉を用いて少量ずつ焼却する。	キノリン
② 燃烧法：アフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。	
● <b>①</b> 燃烧法：スクラバーを具備した焼却炉の中で、乾燥した鉄製容器を用い、油または油を浸した布等を加えて点火し、鉄棒で時々攪拌して完全に燃烧させる。残留物は放冷後、水に溶かし、希硫酸等で中和する。	ナトリウム
② 溶解中和法：不活性ガスを通じて酸素濃度を3%以下にしたグローブボックス内で、乾燥した鉄製容器を用い、エタノールを徐々に加えて溶かす。溶解後、水を徐々に加えて加水分解し、希硫酸等で中和する。	
● <b>①</b> 燃烧法：スクラバーを具備した焼却炉の中で、乾燥した鉄製容器を用い、油または油を浸した布等を加えて点火し、鉄棒で時々攪拌して完全に燃烧させる。残留物は放冷後、水に溶かし、希硫酸等で中和する。	カリウム
② 溶解中和法：不活性ガスを通じて酸素濃度を3%以下にしたグローブボックス内で、乾燥した鉄製容器を用い、エタノールを徐々に加えて溶かす。溶解後、水を徐々に加えて加水分解し、希硫酸等で中和する。	
○ <b>①</b> 燃烧法：焼却炉で焼却する。	蔞酸
② 活性汚泥法：ナトリウム塩とした後、活性汚泥で処理する。	
○ <b>①</b> アルカリ法：多量の水または希アルカリ水溶液を加え、放置または攪拌して分解させた後、酸またはアルカリで中和して廃棄する。	ジメチル硫酸
② 燃烧法：焼却炉で焼却する。	
○ アルカリ法：多量の水酸化ナトリウム水溶液(10%程度)に攪拌しながら少量ずつガスを吹き込み分解した後、希硫酸を加えて中和する。	ホスゲン
● <b>①</b> アルカリ法：水酸化ナトリウム水溶液でpH13以上に調整後、加温加圧下で加水分解する。	アクリルニトリル
② 活性汚泥法	
③ 燃烧法：焼却炉の火室へ噴霧して焼却する。	
● <b>①</b> アルカリ法：水酸化ナトリウム水溶液でアルカリ性とし、高温加圧下で加水分解する。	シアン化カリウム
② 酸化法：水酸化ナトリウム水溶液を加えてアルカリ性(pH11以上)とし、酸化剤(次亜塩素酸ナトリウム、晒粉等)の水溶液を加えて酸化分解する。分解後は硫酸を加えて中和し、多量の水で希釈して処理する。	
● <b>①</b> アルカリ法：水酸化ナトリウム水溶液でアルカリ性とし、高温加圧下で加水分解する。	シアン化ナトリウム
② 酸化法：水酸化ナトリウム水溶液を加えてアルカリ性(pH11以上)とし、酸化剤(次亜塩素酸ナトリウム、晒粉等)の水溶液を加えて酸化分解する。分解後は硫酸を加えて中和し、多量の水で希釈して処理する。	

<ul style="list-style-type: none"> <li>●①酸化法：多量の水酸化ナトリウム水溶液(20% (w/v) 以上)に吹き込んだ後、酸化剤(次亜塩素酸ナトリウム、晒粉等)の水溶液を加えて酸化分解する。分解後は硫酸を加えて中和し、多量の水で希釈して処理する。</li> <li>②酸化法：多量の水酸化ナトリウム水溶液(20% (w/v) 以上)に吹き込んだ後、高温高压下で加水分解する。</li> <li>③燃焼法：スクラバーを具備した焼却炉の火室に噴霧して、できるだけ高温で焼却する。</li> <li>④活性汚泥法：多量の水酸化ナトリウム水溶液(20% (w/v) 以上)に吹き込んだ後、多量の水で希釈して活性汚泥槽で処理する。</li> </ul>	シアン化水素
<ul style="list-style-type: none"> <li>○①酸化法：過剰の酸性亜硫酸ナトリウム水溶液に混合した後、次亜塩素酸水溶液で分解し多量の水で希釈して流す。</li> <li>②燃焼法：珪藻土等に吸収させ開放型の焼却炉で焼却する。</li> <li>③燃焼法：可燃性溶剤(アセトン、ベンゼン等)に溶かし焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。</li> </ul>	アクロレイン
<ul style="list-style-type: none"> <li>○①酸化法：多量の水を加え希薄な水溶液とした後、次亜塩素酸塩水溶液を加え分解させ、廃棄する。</li> <li>②酸化法：水酸化ナトリウム水溶液等でアルカリ性とし、過酸化水素水を加えて分解させ、多量の水で希釈して処理する。</li> <li>③燃焼法：アフターバーナーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。</li> </ul>	ホルマリン
○酸化法：水酸化ナトリウム水溶液中へ徐々に吹き込んで処理した後、酸化剤(次亜塩素酸ナトリウム、晒粉等)の水溶液を加えて酸化分解する。これに硫酸を加えて中和した後、多量の水を用いて希釈し、処理する。	メチルメルカプタン
<ul style="list-style-type: none"> <li>●①還元法：多量の水で希釈し、還元剤(チオ硫酸ナトリウム水溶液など)の溶液を加えた後、中和する。その後、多量の水で希釈して処理する。</li> <li>②アルカリ法：アルカリ水溶液(石灰乳または水酸化ナトリウム水溶液)中に少量ずつ滴下し、多量の水で希釈して処理する。</li> </ul>	臭素
●還元法：還元剤(例えばチオ硫酸ナトリウム等)の水溶液に希硫酸を加えて酸性にし、この中に少量ずつ投入する。反応終了後、反応液を中和し、多量の水で希釈して処理する。	塩素酸塩類
●還元法：還元剤(例えばチオ硫酸ナトリウム等)の水溶液に希硫酸を加えて酸性にし、この中に少量ずつ投入する。反応終了後、反応液を中和し、多量の水で希釈して処理する。	亜塩素酸ナトリウム
○回収法：そのまま再生利用するため蒸留する。	水銀
<ul style="list-style-type: none"> <li>○①回収法：多量の場合には加熱し、蒸発させて金属として捕集回収する。</li> <li>②固化隔離法：セメントを用いて固化し、埋立処分する。</li> </ul>	セレン
<ul style="list-style-type: none"> <li>○①回収法：そのまま再生利用するために蒸留する。</li> <li>②固化隔離法：セメントを用いて固化し、溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。</li> </ul>	砒素
<ul style="list-style-type: none"> <li>●①固化隔離法：セメントを用いて固化し、溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。</li> <li>②沈殿隔離法：水に溶かし、消石灰、ソーダ灰等の水溶液を加えて処理し、さらにセメントを用いて固化する。溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。</li> <li>③焙焼法：多量の場合には還元焙焼法により、金属として回収する。</li> </ul>	カドミウム化合物 (水溶性のもの)

<p>●①沈殿隔離法：水に溶かし、(希硫酸を加えて酸性にし、酸化剤(次亜塩素酸ナトリウム、さらし粉等)の水溶液を加えて酸化分解する。酸化分解した後、)硫化ナトリウムの水溶液を加えて沈殿させ、セメントを加えて固化し、溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。</p> <p>②焙焼法：還元焙焼法により、金属として回収する。</p>	水銀化合物(例外あり)
<p>●①酸化隔離法：多量の次亜塩素酸塩水溶液を加えて分解させた後、消石灰、ソーダ灰等を加えて処理し、沈殿濾過し、さらにセメントを加えて固化し、溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。</p> <p>②燃焼隔離法：アフターバーナー及びスクラバー(洗浄液にアルカリ液)を具備した焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。洗浄液に消石灰、ソーダ灰等の水溶液を加えて処理し、沈殿濾過し、さらに焼却炉と共にセメントを用いて固化する。溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。</p>	四アルキル鉛
<p>○①酸化沈殿法：多量の次亜塩素酸ナトリウム水溶液を用いて、酸化分解する。その後、過剰の塩素を亜硫酸ナトリウム水溶液等で分解させ、その後、硫酸を加えて中和し、沈殿濾過し埋立処分する。</p> <p>②燃焼法：多量のベンゼンに溶解し、スクラバーを具備した焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。</p>	ニッケルカルボニル
<p>○①還元沈殿法：希硫酸に溶かし、還元剤(硫酸第一鉄等)の水溶液を過剰に用いて還元した後、消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理し、沈殿濾過する。溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。</p> <p>②焙焼法：還元焙焼法により、金属として回収する。(鉛、亜鉛の化合物の場合)</p>	クロム酸化合物
<p>○還元沈殿法：希硫酸に溶かし、還元剤(硫酸第一鉄等)の水溶液を過剰に用いて還元した後、消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理し、沈殿濾過する。溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。</p>	重クロム酸カリウム
<p>○還元沈殿法：希硫酸に溶かし、還元剤(硫酸第一鉄等)の水溶液を過剰に用いて還元した後、消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理し、沈殿濾過する。溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。</p>	重クロム酸ナトリウム
<p>○還元沈殿法：希硫酸に溶かし、還元剤(硫酸第一鉄等)の水溶液を過剰に用いて還元した後、消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理し、沈殿濾過する。溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。</p>	無水クロム酸
<p>○①還元沈殿法：水酸化ナトリウム水溶液に溶解し、希硫酸を加えて酸性とした後、還元剤(硫酸第一鉄、亜硫酸ナトリウム等)を過剰に加えて還元し、過剰の鉄化合物を加える。水酸化ナトリウム等のアルカリ溶液を加えて、水酸化鉄と共沈させ、沈殿濾過し、埋立処分する。</p> <p>②回収法：多量の場合は、炭酸ナトリウムを加え焙焼し、水又はアルカリ水溶液で抽出した後、化合物として回収する。</p>	五酸化バナジウム
<p>○分解沈殿法：多量の消石灰水溶液に攪拌しながら少量ずつ加えて中和し、沈殿濾過して埋立処分する。</p>	硅弗化水素酸

○分解沈殿法：多量の塩化カルシウム水溶液に攪拌しながら少量ずつ加え、数時間加熱攪拌する。時々消石灰水溶液を加えて中和し、もはや溶液が酸性を示さなくなるまで加熱し、沈殿濾過して埋立処分する。	硼弗化水素酸
○①沈殿法：水に溶かし、食塩水を加えて沈殿濾過する。 ②焙焼法：還元焙焼法により、金属として回収する。	硝酸銀
○沈殿法：水に溶かし、硫酸ナトリウム水溶液を加えて処理し、沈殿濾過して埋立処分する。	塩化バリウム
○沈殿法：水に溶かし、硫化ナトリウム水溶液を加えて沈殿させ、濾過して、埋立処分する。	三塩化アンチモン
○①沈殿法：多量の水に溶かし、消石灰、(ソーダ灰等)の水溶液を加えて処理し、沈殿濾過して埋立処分する。 ②焙焼法：多量の場合には還元焙焼法により、金属として回収する。	無機錫塩類(液体のもの)
○沈殿法：多量の消石灰水溶液中に吹き込んで吸収させ、中和し、沈殿濾過して埋立処分する。	弗化水素
○沈殿法：多量の消石灰水溶液に攪拌しながら少量ずつ加えて中和し、沈殿濾過して埋立処分する。	弗化水素酸
●分解法：少量の界面活性剤を加えた亜硫酸ナトリウムと炭酸ナトリウムの混合溶液中で、攪拌し分解させた後、多量の水で希釈して処理する。	クロルピクリン
●活性汚泥法：多量の水に少量ずつガスを吹き込み溶解し希釈した後、少量の硫酸を加えエチレングリコールに変え、アルカリ水で中和し、活性汚泥で処理する。	エチレンオキシド